

第55期 事業報告書

2003年4月1日～2004年3月31日

株主のみなさまへ



普段の暮らしをより豊かに・より便利に・より楽しく

DISCOUNT STORE
MrMax

(証券コード 8203)

B U S I N E S S R E P O R T

株主のみなさまへ



代表取締役社長 平野 能章

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2004年3月31日をもちまして、当社第55期(2003年4月1日から2004年3月31日まで)が終了いたしましたので、ここに当期の「事業報告書」をお届けし、営業の概況等をご報告申し上げます。

当社グループは、当期を利益体質強化のための「構造改革の年」と位置付け、前期中に適正規模を欠く小型店3店舗を閉鎖したことに続き、当期においても3店舗を閉鎖する一方、熊本、千葉、福岡に大型店3店舗を出店いたしました。また、東西2箇所に物流センターを開設する一方で、発注の本部集中体制を強化し、物流の効率化と商品管理の精度向上に努めました。

この結果、連結営業収益は934億39百万円(前期比101.1%)と伸び悩んだものの、荒利益率が改善し、連結営業総利益(売上総利益と不動産賃貸収入の合計)は213億14百万円(前期比113.2%)の増益となりました。

販売費及び一般管理費は、物流センターや新店舗開店に伴う費用増により増加し、連結営業利益は11億77百万円(前期比89.6%)、連結経常利益は14億28百万円(前期比88.3%)と減益となりましたが、物流センターの運営が軌道に乗ったことから、次期以降の店舗経費削減への道筋をつけることができました。連結当期純利益は7億7百万円(前期比102.8%)と3期連続して増益となりました。

財務ハイライト(連結決算)

	第52期 (2001年3月期)	第53期 (2002年3月期)	第54期 (2003年3月期)	第55期 (2004年3月期)
営業収益(百万円)	93,228	98,076	92,440	93,439
営業利益(百万円)	294	886	1,314	1,177
経常利益(百万円)	545	1,064	1,617	1,428
当期純利益(百万円)	175	438	687	707
1株当たり当期純利益(円)	4.42	11.18	17.36	18.10
営業利益率(%)	0.3	0.9	1.4	1.3
ROE(%)	0.6	1.5	2.4	2.5
総資産(百万円)	95,034	82,988	80,155	78,756
株主資本(百万円)	28,536	28,324	28,380	28,605
有利子負債(百万円)	34,478	27,615	26,052	24,516
株主資本比率(%)	30.0	34.1	35.4	36.3
デット・エクイティ・レシオ(倍)	1.21	0.97	0.92	0.86

(注) ROE(株主資本利益率)
デット・エクイティ・レシオ(負債資本比率)

また、当期の利益配当金につきましては、1株につき5円(中間配当金5円を加え、通期の配当金は1株につき10円)をお支払させていただきます。当社は、配当の継続を重視しており、会社の経営成績及び財政状態並びに今後の見通し等を総合的に勘案しながら、安定的な配当の実現に努めてまいります。

小売業界を取り巻く厳しい環境が続く中で、当社グループは、お客様に楽しく、安心して買い物をしていただけるよう、収益力、財務体質の一層の強化とさらなる経営の効率化に

努め、「お客様の普段の暮らしに必要な商品を豊富に品揃えし、安い価格で提供し続ける」というディスカウント・ストアとしての使命を果たすことにより、地域社会のインフラを目指していく所存でございます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2004年6月
代表取締役社長 平野 能章

もくじ

株主のみなさまへ ……1	単体財務情報 ……11
財務ハイライト ……2	株式情報 ……12
クローズアップ ……3	会社概要 ……12
部門レポート ……5	インフォメーション…13
連結財務情報 ……7	店舗ネットワーク ……14

お客様の利便性を追求した店づくり

当期は、2003年4月に熊本南店(熊本市)、5月におゆみ野店(千葉市)、2004年3月に橋本店(福岡市)の3店舗を出店いたしました。お客様の買い物の利便性を重視し、いずれも、食品スーパーを含む中商圏型ショッピングセンター内への出店で、ワン・フロア、オープン・モール型、1,800坪から2,300坪の標準店舗で出店いたしました。「ミスターマックスおゆみ野ショッピングセンター」と「ミスターマックス橋本ショッピングセンター」を開業し、自社開発のショッピングセンターは、20箇所となりました。出店エリアは、コア・ターゲットとなるファミリー層の厚い都市部、特に首都圏、湾岸エリアへターゲットを絞り、出店を進めてまいります。2005年春には、千葉市美浜区に首都圏3号店を開店する予定です。

一方で、適正規模を欠く小型店のスクラップを進めております。当期は、2003年5月に野方店(福岡市:売場面積670坪)、9月に南大分店(大分市:売場面積334坪)、2004年2月に宇美店(福岡県糟屋郡:売場面積410坪)を閉鎖いたしました。

ミスターマックス橋本ショッピングセンター

2004年3月5日、福岡市西区のミスターマックス野方店跡地に、「ミスターマックス橋本ショッピングセンター」をオープンいたしました。ミスターマックス橋本店とスーパーマーケット「ハローデイ」を核店舗に、パソコン専門店「PC DEPOT」やCDレンタル等の「ゲオ」、ドラッグストアの「OHGA Pharmacy」など、普段の暮らしに欠かせない各種専門店を集積しています。また、飲食店としてラーメンの「一麺亭」や「サーティーワンアイスクリーム」、サービス業ではパソコン教室や英会話教室、理美容室などがあり、多彩なテナント構成となっています。



所在地 福岡市西区橋本一丁目10番72号
電話番号 092-811-6800

■アクセスのご案内

車ご利用の場合

福岡都市高速福重インターをおりて、福岡外環状道路を七隈方面へ約1.7km、橋本西交差点そば。

バスご利用の場合

<博多駅から>
博多駅交通センター1Fから室住団地行き、または野方行き乗車、大河原バス下車、徒歩3分。
<天神から>
天神北から野方行き乗車、大河原バス下車、徒歩3分。

プライベート・ブランドの開発

特売日だけ安いのではなく、毎日、いつでも安い価格でお買い物を楽しんでいただけることを目指し、「安さ365日」をプライス・ポリシーに掲げております。その一つの方策として、プライベート・ブランドの導入をおこなっています。品質と価格のバランスが優れた、普段の暮らしを楽しくするお値打ち商品です。「Make a GOOD CHOICE!」と「SELF STYLE」という2つのブランドがあります。

低反発まくらと低反発パット

人気の「低反発まくら」の商品開発をおこないました。通販でおなじみの、頭の形にフィットして安眠を促すというものですが、専用のカバー付で、1,998円(税込)で販売しています。昨年12月に導入以来、2万5千個を超える売上で、人気の商品となっています。好評にお応えして、低反発パットも開発いたしました。シングル、セミダブル、ダブルとサイズも豊富に品揃えています。



●低反発まくら

●低反発パット

物流センターの稼働

2003年4月に福岡県久山町に西日本物流センターを、10月に千葉県市川市に関東物流センターを稼働し、全42店舗をカバーする物流センターが整いました。

荷受、検品業務の自社物流センターへの集中と発注の本部集中により、店舗での作業体系を抜本的に見直し、店舗作業時間、店舗人件費の大幅削減を目指します。



部門別の実績

(ハードグループ:家電、カメラ等)

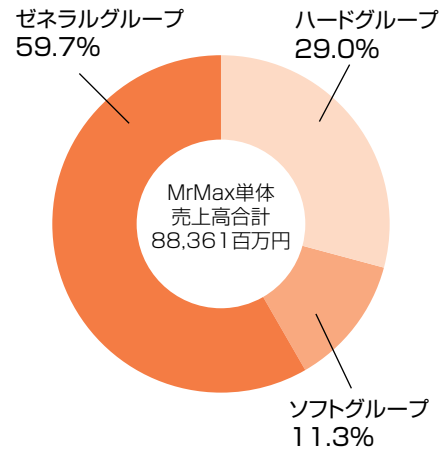
冷夏、暖冬の影響で、エアコン、冷蔵庫の売上が前年を下回ったことなどにより、ハードグループ全体の売上高は256億28百万円(前期比7.0%減)となりました。

(ソフトグループ:衣料、シューズ、時計、服飾雑貨等)

冷夏、暖冬の影響で、Tシャツや防寒外衣の売上が前年を下回ったことなどにより、ソフトグループ全体の売上高は100億1百万円(前期比3.4%減)となりました。

(ゼネラルグループ:洗剤・化粧品、日用雑貨、食品等)

酒類販売の自由化などを受け、品揃えを拡大・強化した食品や、輸入化粧品、オリジナルブランドの粉末洗剤などの販売が好調で、ゼネラルグループ全体の売上高は527億31百万円(前期比5.9%増)となりました。



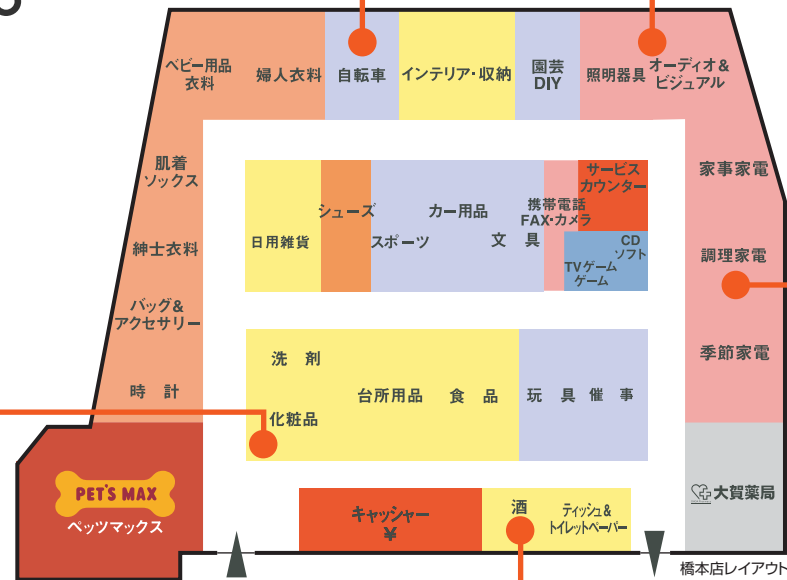
安さ365日。 DISCOUNT Everyday!

HBA



話題の健康・美容商品を導入

TVや、雑誌などで紹介され、人気を集める話題の商品を、いち早く導入し、価格訴求をおこなっています。今、お客様の最も関心の高い健康や美容に関連する商品を、店頭入口の目立つところに陳列し、わかりやすくアピールしています。



「安さ」と「品揃え」で差別化

地域一番の安さを打ち出す低価格帯の商品に加え、機能性やデザインに優れた商品を取り揃え、「安さ」と「品揃え」で他店との差別化を進めています。自転車総合整備士・安全整備士有資格者を全店に107名配置し、販売サービスを充実、安心して購入いただける体制を整えています。

自転車



デジタル家電売場を強化

3月にオープンした橋本店には、プラズマテレビや液晶テレビが並ぶテレビコーナーにソファを設置して、ホームシアターの臨場感を味わいながら、ゆっくり商品が選べる売場をつくりました。デジタル化に向けての需要拡大をにらみ、薄型テレビ、DVDレコーダーなど、デジタル家電を前面に打ち出した売場づくりをおこなっています。

デジタル家電



ガステーブル



親しみやすい家電売場づくり

MrMaxのガステーブル販売台数は、約8万台で、全国販売シェアは約2%です。1店舗当たりの販売台数は1,900台と、家電量販店と比較しても、高い販売台数を上げています。MrMaxの最大の顧客層である主婦の方々にとって、親しみやすい家電売場を提供し、42店舗で年間3,200万人という来店客数を家電販売に活かします。

食品



酒類取扱い店舗を拡大

酒類販売の自由化を受け、酒類の導入店舗を拡大しています。現在、22店舗に導入しています。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科目	当期 2003年4月1日から 2004年3月31日まで	前期 2002年4月1日から 2003年3月31日まで	増減
営業収益	93,439	92,440	998
売上高	90,543	89,807	735
不動産賃貸収入	2,895	2,632	262
売上原価	72,124	73,614	△1,489
(売上総利益)	18,418	16,193	2,224
営業総利益	21,314	18,826	2,487
販売費及び一般管理費	20,136	17,512	2,624
営業利益	1,177	1,314	△137
営業外収益	694	805	△111
営業外費用	443	502	△59
経常利益	1,428	1,617	△189
特別利益	254	9	245
特別損失	427	387	40
税金等調整前当期純利益	1,254	1,239	15
法人税、住民税及び事業税	492	731	△238
法人税等調整額	64	△177	241
少数株主損失	9	3	6
当期純利益	707	687	19

連結損益計算書のポイント

●営業収益

新店舗は好調なスタートを切りましたが、冷夏、暖冬の影響により、既存店の売上高は、前期比92.2%と伸び悩み、売上高は7億35百万円の(0.8%)微増となりました。千葉、福岡に、ショッピングセンターを開発し、不動産賃貸収入は、2億62百万円(10.0%)増加しました。営業収益は、前期末に比べ9億98百万円(1.1%)増加しました。

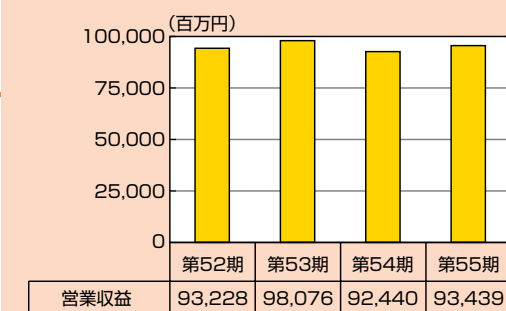
●営業利益・経常利益

荒利益率(売上総利益率)は、20.3%と前期に比べ、2.3ポイント改善し、営業総利益(売上総利益と不動産賃貸収入の合計)は、増益となりました。物流センターや新店舗開店に伴う費用増により、販売費及び一般管理費が26億24百万円(15.0%)増加し、営業利益は前期比1億37百万円(10.4%)減少、経常利益は1億89百万円(11.7%)減少しました。

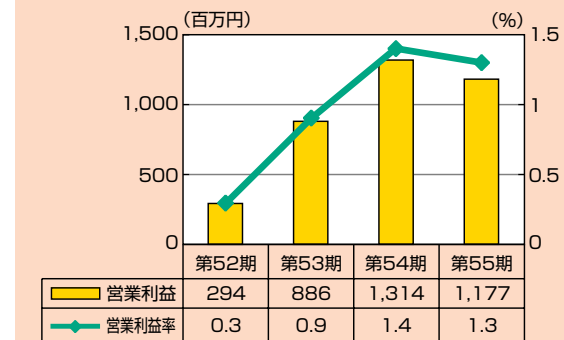
●当期純利益

遊休不動産の売却により、固定資産売却益2億26百万円、固定資産売却損3億56百万円を計上し、当期純利益は19百万円(2.8%)増加しました。**1株当たり当期純利益**は、17円36銭から18円10銭へ、**ROE**は2.4%から2.5%へと改善しました。

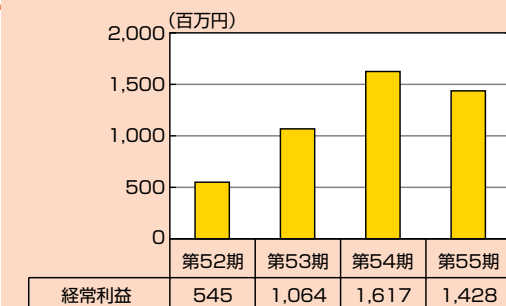
■営業収益



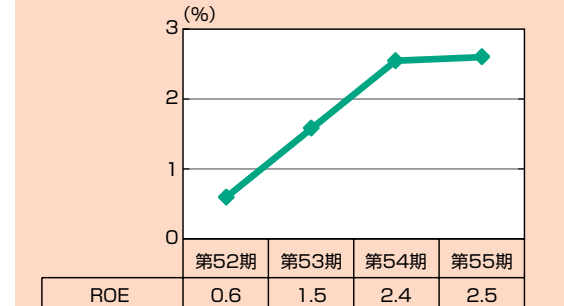
■営業利益・営業利益率



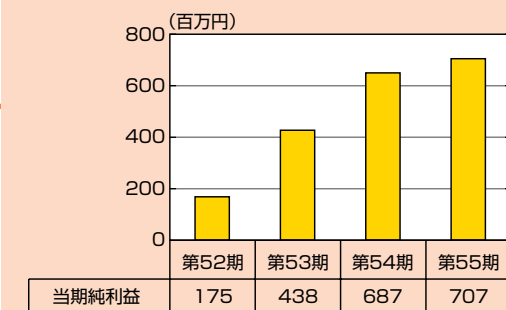
■経常利益



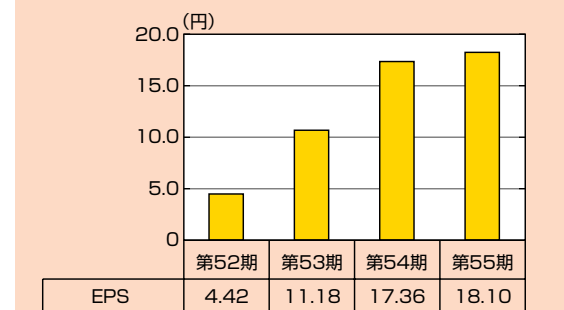
■ROE (株主資本利益率)



■当期純利益



■EPS (1株当たり当期純利益)

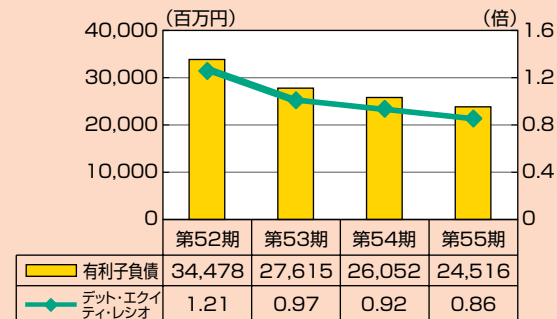


連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科目	当期 2004年3月31日現在	前期 2003年3月31日現在
資産の部		
流動資産	14,190	12,423
(うち現金及び預金)	1,577	2,899
(うちたな卸資産)	9,023	7,802
固定資産	64,565	67,731
有形固定資産	51,243	54,997
無形固定資産	704	599
投資その他の資産	12,618	12,134
資産合計	78,756	80,155
負債の部		
流動負債	25,866	27,234
固定負債	24,208	24,482
負債合計	50,074	51,716
少数株主持分	76	57
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,944	9,944
利益剰余金	9,113	8,806
その他有価証券評価差額金	△80	△140
自己株式	△600	△459
資本合計	28,605	28,380
負債、少数株主持分及び資本合計	78,756	80,155

有利子負債・デットエクイティレシオ



連結貸借対照表のポイント

●資産の部

不動産売却などにより**有形固定資産**が37億54百万円(6.8%)減少しましたが、売却代金の一部を未入金として計上したこと等により、**流動資産**は17億66百万円(14.2%)増加しました。借入金返済のため手元現預金を取り崩し、**現金及び預金残高**は13億21百万円(45.6%)減少しました。**総資産**は前期末に比べ13億99百万円(1.7%)減少し、**総資産回転率**は1.13回から1.18回へと改善しました。

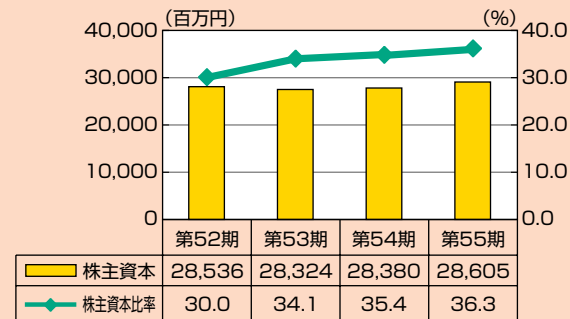
●負債の部

有利子負債(長短借入金及び社債)を前期末に比べ15億36百万円(5.9%)削減しました。その結果、**デット・エクイティ・レシオ**(株主資本に対する有利子負債の比率)は、0.92倍から0.86倍へと改善しました。

●資本の部

利益剰余金は前期末に比べ3億6百万円(3.5%)増加しました。株式市況の回復により、**その他有価証券評価差額金**の資本合計からの控除額は59百万円(42.4%)減少し、80百万円となりました。また期中に1億41百万円の自己株式の買付けをおこなった結果、**自己株式**の資本合計からの控除額は6億円となりました。その結果、**資本合計**(株主資本)は2億25百万円(0.8%)増加し、286億5百万円となりました。**株主資本比率**は35.4%から36.3%へと改善しました。

株主資本・株主資本比率



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科目	当期 2003年4月1日から 2004年3月31日まで	前期 2002年4月1日から 2003年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,691	960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△987	△1,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,024	△2,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の減少額	△1,321	△2,282
現金及び現金同等物の期首残高	2,899	5,181
現金及び現金同等物の期末残高	1,577	2,899

連結剰余金計算書(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科目	当期 2003年4月1日から 2004年3月31日まで	前期 2002年4月1日から 2003年3月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	9,944	9,944
資本剰余金期末残高	9,944	9,944
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	8,806	8,524
利益剰余金増加	707	687
当期純利益	707	687
利益剰余金減少高	400	406
配当金	380	386
役員賞与	20	20
利益剰余金期末残高	9,113	8,806

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、借入金の返済、社債の償還等の支出要因により、前期末に比べ、13億21百万円減少し、15億77百万円となりました。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は16億91百万円であり、前期に比べ7億30百万円増加しました。この増加は、主に、仕入債務の減少に伴う支出が前期に比べ8億60百万円減少したこと、また、前期は2億27百万円減少し、支出となった預り敷金・保証金が、当期においては3億96百万円増加し、収入に転じたこと等によるものです。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は9億87百万円であり、前期に比べ1億38百万円減少しました。この減少は、主に、有形固定資産・無形固定資産の取得による支出が前期に比べ5億88百万円増加したものの、当期に有形固定資産の売却による収入8億76百万円が新たに発生したこと等によるものです。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は20億24百万円であり、前期に比べ91百万円減少しました。この減少は、主に、前期に比べ短期借入金が50百万円増加し、自己株式の取得による支出が25百万円減少したこと等によるものです。

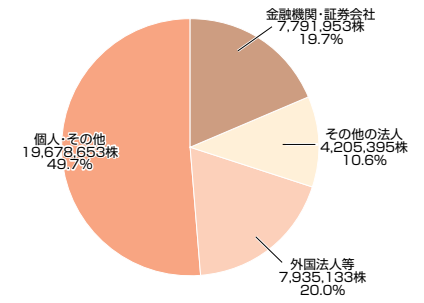
株式情報 (2004年3月31日現在)

- 会社が発行する株式の総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 39,611,134株
(注) 当期中の増減はありません。
- 1単元の株式の数 100株
- 株主数 14,177名
- 大株主 持株数 単位=千株
持株比率 単位=%

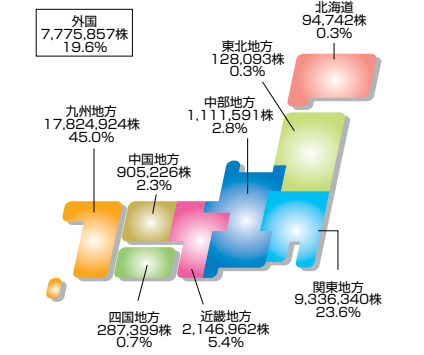
株主名	持株数	持株比率
ヒラノマネージメントビーヴイ	6,435.5	16.24
平野能章	1,850.7	4.67
株式会社福岡銀行	1,755.2	4.43
有限会社 Waiz Holdings	1,600.0	4.03
平野淳子	1,344.6	3.39
ロンパー・オディエ・ダリエ・ヘンチ	1,165.0	2.94
MrMax社員持株会	1,161.7	2.93
ミスターマックス取引先持株会	881.2	2.22
日本興亜損害保険株式会社	846.6	2.13
株式会社西日本銀行	680.0	1.71

(注) 1. 株式数は百株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式1,900,162株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

●所有者別株式分布状況



●地域別株式分布状況



会社概要 (2004年3月31日現在)

- 社名 株式会社ミスターマックス (商号 株式会社MrMax) (英文名 MR MAX CORPORATION)
- 創業 1925年10月
- 設立 1950年12月
- 資本金 10,229百万円
- 従業員数 756名
- 主要な事業所
本部 福岡市東区松田一丁目5番7号
東京本部 東京都渋谷区渋谷二丁目16番5号
- 店舗数 42店

● 役員

代表取締役会長	平野比志志
代表取締役社長	平野能章
常務取締役	樋口一夫
常務取締役	小田康德
常務取締役	佐藤昭彦
取締役	吉田康彦
取締役	石田富英雄
取締役	中野英一
常勤監査役	松本淳
監査役	岩木宗春
監査役	村山勇吉
監査役	岩崎明弘

単体貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科目	当期 2004年3月31日現在	前期 2003年3月31日現在
資産の部		
流動資産	13,474	11,854
(うち商品)	8,571	7,523
固定資産	64,795	67,918
有形固定資産	51,221	54,988
無形固定資産	702	597
投資その他の資産	12,870	12,332
資産合計	78,269	79,772
負債の部		
流動負債	25,300	26,797
固定負債	24,241	24,482
負債合計	49,541	51,279
資本の部		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,944	9,944
利益剰余金	9,234	8,918
その他有価証券評価差額金	△80	△140
自己株式	△600	△459
資本合計	28,727	28,492
負債及び資本合計	78,269	79,772

単体損益計算書 (要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

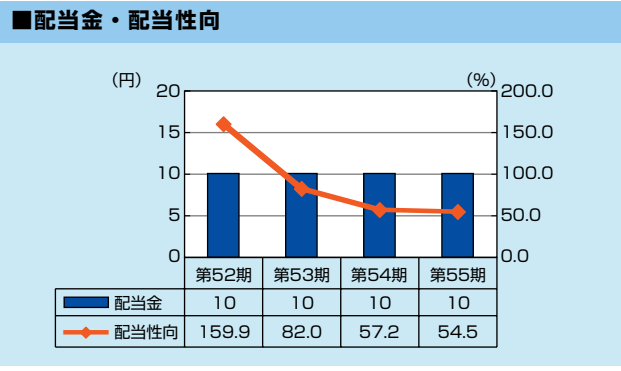
科目	当期 2003年4月1日から 2004年3月31日まで	前期 2002年4月1日から 2003年3月31日まで
営業収益	91,301	90,352
売上高	88,361	87,680
不動産賃貸収入	2,939	2,671
売上原価	70,372	71,885
(売上総利益)	17,988	15,794
営業総利益	20,928	18,466
販売費及び一般管理費	19,744	17,152
営業利益	1,183	1,313
営業外収益	695	805
営業外費用	434	495
経常利益	1,444	1,623
特別利益	254	9
特別損失	425	387
税引前当期純利益	1,273	1,245
法人税、住民税及び事業税	491	730
法人税等調整額	64	△177
当期純利益	716	692
前期繰越利益	466	368
中間配当額	189	192
当期末処分利益	992	868

利益処分

(単位:千円・千円未満切捨)

科目	当期 株主総会承認日 2004年6月29日	前期 株主総会承認日 2003年6月27日
当期末処分利益	992,888	868,028
任意積立金取崩額		
圧縮記帳積立金取崩額	25,126	8,632
計	1,018,014	876,660
これを次のとおり処分いたしました。		
配当金	188,554	190,539
1株につき普通配当 5円		
役員賞与金	20,000	20,000
別途積立金	500,000	200,000
次期繰越利益	309,460	466,121

当期末の配当金は、1株当たり5円とさせていただきます。
なお、中間配当金5円を加え、通期の配当金は1株当たり10円となります。





IR情報をホームページから
ご覧いただけます

IR情報

http://www.mrmax.co.jp/ir/

月次情報や決算情報をはじめ、過去の業績の推移や、株式情報なども、こちらからご覧いただけます。

投資家の皆様へ	決算情報
株価情報	業績の推移
月次情報	株式情報
ニュースリリース	免責事項

ミスターマックス環境方針

- 1.環境保全型運営の実施
- 2.地域環境保全の実施
- 3.環境関連法規の遵守
- 4.継続的改善
- 5.環境方針の周知と公開



ミスターマックスは、環境管理の国際基準「ISO14001」の審査登録企業です。

単元未満株式を所有されている方へ

1.単元未満株式買増

- ①単元未満株式(100株未満)を所有されている株主の方で、1単元(100株)に不足する株式数を買増することにより、1単元の株式とすることが可能です。
- ②買増分の購入価格は、お手続きに必要な書類および買増概算金(前日の終値の1.3倍に、買増株式数を乗じた金額)が当社名義書換代理人であるUFJ信託銀行の受付窓口に着した日の株価終値になります。
- ③「保管振替制度」をご利用の単元未満株式について買増請求をされる場合は、株券を預託されている証券会社等にご相談ください(証券会社等によっては、お取り扱いできない場合もございます)。
- ④毎年3月31日から起算して12営業日前から3月31日までの間、および9月30日から起算して12営業日前から9月30日までの間、買増請求の受付を停止させていただきます。(ただし、保管振替制度ご利用の場合は、株券を預託されている証券会社等にお問い合わせください)。上記以外にも受付を停止させていただく場合がございますのでご注意ください。

2.単元未満株式買取

単元未満株式を所有されている株主の方の、単元未満株式の買取(当社に対する売却)もおこなっています。

以上のお手続きをご希望の方は、UFJ信託銀行事務取扱場所にお問い合わせください。

お手続きに関するご照会先
UFJ信託銀行事務取扱場所

TEL 06-6229-3011 (代表)

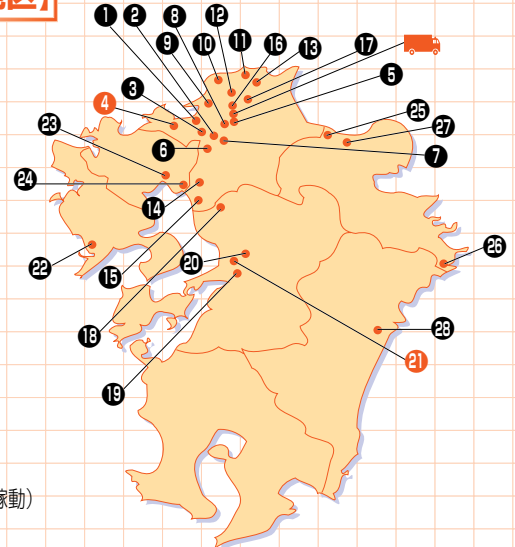
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

UFJ信託銀行株式会社大阪支店証券代行部

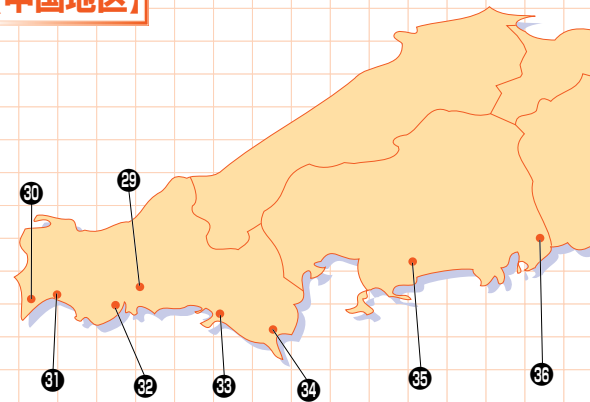
店舗ネットワーク

【九州地区】

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 マリノアシティ福岡店 | 16 飯塚花瀬店 |
| 2 長住店 | 17 田川バイパス店 |
| 3 野芥店 | 18 山鹿店 |
| 4 橋本店(2004年3月5日開店) | 19 松橋店 |
| 5 土井店 | 20 熊本インター店 |
| 6 白水店 | 21 熊本南店(2003年4月24日開店) |
| 7 大野城店 | 22 長崎店 |
| 8 粕屋店 | 23 佐賀店 |
| 9 新宮店 | 24 北茂安店 |
| 10 宗像店 | 25 中津店 |
| 11 本城店 | 26 佐伯店 |
| 12 木屋瀬真名子店 | 27 宇佐店 |
| 13 富野店 | 28 日向店 |
| 14 久留米インター店 | 西日本物流センター(2003年4月稼動) |
| 15 大牟田店 | |

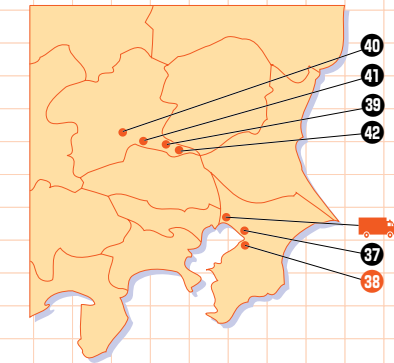


【中国地区】



- | | |
|---------|---------|
| 29 山口店 | 33 末武店 |
| 30 綾羅木店 | 34 柳井店 |
| 31 小野田店 | 35 八本松店 |
| 32 宇部店 | 36 神辺店 |

【関東地区】



- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 37 新習志野店 | 41 伊勢崎店 |
| 38 おゆみ野店
(2003年5月22日開店) | 42 館林店 |
| 39 太田東店 | 関東物流センター
(2003年10月稼動) |
| 40 倉賀野店 | |

株主メモ

決算期

3月31日

定時株主総会開催

6月

基準日

定時株主総会の基準日 3月31日
 その他必要があるときは、取締役会で決議し、
 あらかじめ公告する一定の日

配当金受領株主確定日

利益配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

1単元の株式の数

100株

公告掲載新聞

日本経済新聞

当社は、貸借対照表及び損益計算書を、
 決算公告に代えて、ホームページに掲載いたしております。
 ホームページアドレスは、次のとおりです。
<http://www.mrmax.co.jp/ir/account/koukoku.html>

名義書換代理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
 UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所（お問い合わせ先）

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 UFJ信託銀行株式会社大阪支店証券代行部
 電話 06-6229-3011（代表）

同取次所

UFJ信託銀行株式会社本支店
 野村證券株式会社本支店

上場証券取引所

東京証券取引所市場第一部
 福岡証券取引所



株式会社ミスターマックス
 〒812-0064 福岡市東区松田一丁目5番7号
 電話 092-623-1111（代表）
 ホームページ <http://www.mrmax.co.jp/>

株式の事務手続き

株式の事務手続き（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、株式名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

- フリーダイヤル
 ☎0120-24-4479（本店証券代行部）
 ☎0120-68-4479（大阪支店証券代行部）
- インターネットアドレス
<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。